

検索キーワードの選び方とその理由について

〇〇学について知りたい「××の実態について知りたい」と思って図書館の蔵書検索(OPAC)を使ってみても、うまく検索ができずにほしい本がなかなか見つからないということがあると思います。かといって数百万冊の中から希望の一冊を見つけるのはなかなか骨が折れる作業です。そこで、今回は OPAC を利用するにあたって検索キーワードの選び方について Q&A 形式でお伝えします。加えて、OPAC 検索のさらなる活用方法についてもお伝えします。

1
QUESTION



授業で言われたとおりに検索してもなかなかヒットしません。

1
ANSWER



最初に 3 つのポイントを押さえましょう。

キーワードを検索する際におすすめの方法として「まずはヒット件数を上げて、そこから絞り込む」ことがあります。そこでまず大事なものは、ヒット件数をあげることです。今回は例として、「不登校の子供の対応とスクールカウンセラーの役割について調べなさい」と授業で指示があった場合の検索方法についてお伝えします。初歩的な留意事項として、まず以下の3点の方法を試してください。

キーワード検索 3つのポイント

- ① **文章で入力しないこと。**
スペース(空白)を使ってヒット数をあげるべし。
- ② **ヒットしなくてもめげないこと。**
類語・略語、仮名や漢字変換で再度検索すべし。
- ③ **関連するキーワードを検索すべし。**
その際、5W1H から考えてみること。

①文章で入力しないこと。

OPAC 検索の際、「授業で言われたとおり」の文章をそのまま使っても思うような本はなかなか見つけられません。たとえば以下の検索方法は誤りで、スペースを使って語単位で検索しなおしてみましょう。専門的な用語の場合は最も重要なキーワード一つだけに絞って検索してみてもよいでしょう。

表 1 語単位で検索するか否かによるヒット件数の違い

良くない例(文章で入力)	良い例(単語をスペースで区切る)
不登校の対応→3 件ヒット	不登校 対応→13 件ヒット
スクールカウンセラーの役割→1 件ヒット	スクールカウンセラー→27 件ヒット

②ヒットしなくてもめげないこと。

また②であげたように類義語や略称、ひらがなに変換してみると別の資料がヒットする場合もあります。こうして様々に検索することでより自分の関心に近い本に出合える可能性も高くなります。今回の事例だと、以下のように変換してみることでより幅広い資料を検索することができます。

- ・「不登校」を昔使われていた「登校拒否」に変えて検索
- ・「子供」を「こども」「子ども」に変えて検索
- ・「不登校 スクールカウンセラー」ではなく「不登校 SC」で検索

③関連するキーワードを検索すべし。

さらに③のように関連キーワードを検索することで、より具体的な対象について理解を深めることができます。その際、5W(Who,What,Where,When,Why)1H(How)をイメージしてみることが一つの方法としてあります。たとえば「不登校」というキーワードに関して 5W を書き出してみましょう。

Who(誰が)	小中学生、子ども…
What(何を)	原因、学習、心理、家庭環境…
Where(どこで)	フリースクール、保健室、適応指導教室…
When(いつ)	小学校、長期休暇、コロナ…
Why(なぜ)	いじめ、学習不振、経済状況…

このように考えることによって、よりキーワード検索の幅が広がり、レポート等の内容も深まっていくのではないかと思います。



自分がすでに知っているテーマの場合、関連ワードや類語等はすぐ浮かびますが、卒論執筆や授業の予習等の場合、なかなか思い当たるキーワードがないと思います。

OPACを利用する前の段階で関連ワードを見つける場合、以下のツールが役立つと思います。なお、データベースは一部を除いて福大図書館のホームページからアクセスし、ログインする必要があります。

データベース名	概要
Weblio 類語辞典	Web上で利用できます。類語検索の際に役立ちます
Japanknowledge Lib*	キーワードの意味を調べる場合に、利用します。複数の辞典を横断検索できます。福岡大学が契約しているデータベースなのでぜひ活用してください。
Magazineplus*	福岡大学が契約しているデータベースです。キーワード検索によって国内主要雑誌のタイトルが見られるので、関連キーワードを見つけるにあたって有用です。magazineplusは検索後に福大OPACへのリンクバナーも設けてあるので、図書館に所蔵しているかどうか確認できて便利です。
各雑誌データベース*	調べたいキーワードに関する情報が掲載されていれば、関連キーワードを検索するために必要な情報が入手できるでしょう。福岡大学が契約しているものでも日経関連雑誌(日経BP記事検索サービス)や週刊ダイヤモンド(「週刊ダイヤモンド」デジタルアーカイブスPLUS)の閲覧が可能です。

データベースの利用については少し難易度が高いようにも思えますが、使い方を知るととても便利です。大学が契約しているものになるので、これを機会にぜひ利用してみてください。

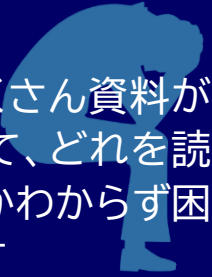
*データベースのアクセス方法

【学内から】福岡大学図書館ウェブサイトトップページ>学術情報検索>データベース

【学外から】福岡大学図書館ウェブサイトトップページ>学術情報検索>学外から電子リソースを利用する(リモートアクセス)

3
QUESTION

むしろたくさん資料が検索されて、どれを読めばいいかわからず困っています



3
ANSWER

データベースを使って探してみましょう。



質問1の最初に、検索にあたって「まずはヒット件数を上げて、そこから絞り込む」ことをお勧め方法として紹介しました。今回は絞り込む方法についていくつかご紹介します。

- ①「詳細検索」等の絞り込む機能を活用してよりの確に資料を検索する。
- ②一度資料の詳細を表示して、書誌詳細や類似資料を確認する。
- ③AND 検索や NOT 検索をマスターする。

①「詳細検索」等の絞り込む機能を活用してよりの確に資料を検索する。

詳細検索ではタイトルや執筆者、資料形態、出版年等をから検索できます。また、検索後に絞り込みも可能なので、ヒット数が多い場合にぜひ活用ください。特に「新しい情報が知りたい！」という方には出版年の絞り込みをお勧めします。

②一度資料の詳細を表示して、書誌詳細や類似資料を確認する。

書誌情報や類似資料は、特定の資料の書誌画面を確認する中で表示されています。書誌情報では、件名でカテゴリが把握できるのでキーワード検索に便利です。また、書誌画面にかならず明記されている「所蔵情報」で配架されている場所に行くと、該当の図書と周辺の関連図書を直接手に取って確認することができます。

③AND 検索や NOT 検索をマスターする。

AND 検索や NOT 検索は少し難しい検索方法ですが、ぜひ試してほしいです。AND 検索とは、「2 語以上のキーワードを必ず含む資料の検索」の場合に有効で、NOT 検索は「NOT 後のキーワードを含まない資料の検索」の場合に有効です。たとえば「不登校△ー△いじめ」と検索すれば「いじめ」のキーワードを含まない資料の検索が可能になります。AND スペースを空けて入力すれば問題ありません。ぜひご活用ください。

4
QUESTION

OPAC やデータベース検索の場合に出てくる電子ジャーナルや機関リポジトリとは何でしょうか。違いを教えてください。



4
ANSWER

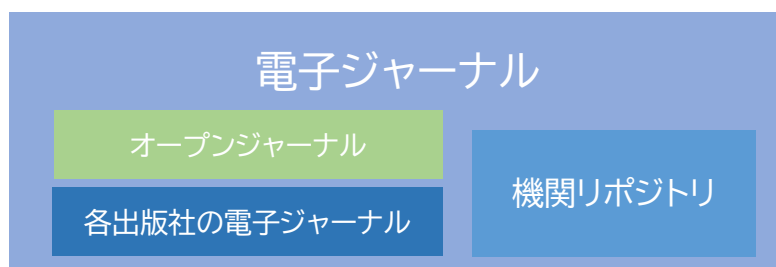
電子ジャーナル>機関リポジトリの関係です。



このような表示は、主に論文等を検索する場合にみられる用語です。

OPAC 検索の際の資料分類に「雑誌」「図書」「電子ジャーナル」「電子ブック」と表示されている資料に出会う場合があります。また、論文検索でよく利用される CiNii Research 等で論文を開く場合に「機関リポジトリ」等の表示がある論文があります。

大まかにいうと、どちらも Web 上に資料のデータが開かれていて、一部有料のものもありますが、原則誰でもオープンに閲覧することができるものになります。その中で電子ジャーナルは Web 上で閲覧できる雑誌の総体を意味していて、その一つに機関リポジトリが含まれるというのがより正確な理解です。機関リポジトリはその中でも大学等の研究機関が蓄積・保存し、公開しているものになります。



福岡大学も「福岡大学機関リポジトリ」を公開しており、例えば各学部で発刊している論文集(多くは福大所属の教職員が執筆しているもの)や大学院生が執筆した論文などが掲載されています。

より広い意味である「電子ジャーナル」や「電子ブック」は、たとえば福大が現在契約している Maruzen eBook Library が公開されていて、電子書籍感覚で閲覧が可能です。福大図書館ホームページ上でも、蔵書検索(OPAC)だけではなく電子ジャーナルや電子ブックに特化した検索が可能となっています。*1

経由しているデータベースによっては閲覧可能人数を制限している場合も多いですが、大学にいかずとも閲覧できる*2 という点でメリットは大きいといえるでしょう。

*1 福岡大学図書館ウェブサイトトップページ>電子ジャーナル・電子ブックタブ

*2【学外から】福岡大学図書館ウェブサイトトップページ>学術情報検索>学外から電子リソースを利用する(リモートアクセス)

以上の点を踏まえて蔵書検索していただくことによって、よりスムーズに希望の資料を手にとることができると思います。ぜひお試しください。